



福垣内邦治 議員

Q 県道の渋滞に伴う町道の安全対策は

A (町長) 生活道路への交通流入に対して安全対策等を実施する。

〔Q1〕 阿戸別れ交差点の左折レーン新設、横断歩道移設の要望を県へ。

〔A1〕 交差点改良は、次期県道整備計画に位置づけられる予定であり早期整備を要望する。将来的には、都市計画道路の接続など、県や公安委員会と連携して取り組む。

〔Q2〕 町道の安全対策への対応として、速度規制標識の改良、路面舗装は。

〔A2〕 無料化前後令和2年10月、令和3年2月交通量調査についても随時データ公開を。

〔A2〕 町道の全面的な拡幅等は財政的にも厳しく、速度規制標識は公安委員会のルールもある。



▶ 阿戸別れ交差点

町道管理として、より費用対効果の高い対策を行いたい。カラー舗装などは的を絞って適切に進めていきたい。無料化前後の交通量の調査は県で実施されており、県道の渋滞の解消に向けて、交通量の把握など、引き続き県へ働きかける。

Q 商業モール沿いの県道延伸はいつ完成するのか

A (町長) 本年3月末の完成予定であったが、災害復旧工事が重なり6月末予定となった。



荒瀧 穂積 議員

〔Q1〕 当モールは、年間200万人来店目標の地方創生事業である。町の情報発信がここでできるか、郷土魂が試される。

〔A1〕 本事業に4年余り関わるなか24時間対応の避難所利用をお願いしている。隣接店と合わせれば、約700台、約2千人の規模となる。開店は4月27日予定である。県道延伸の遅れで出店社や近隣施設は渋滞や混雑を心配している。

工期が遅れた理由は、また、周辺町道の対策に町の誠意を求める。

〔A1〕 本年3月末までに町道昭和線まで開通予定であったが、6月末予定に変更となった。原因は平成30年7月豪雨災害復旧工事の最盛期と重なり資材及び人手が不足したことによる。また、周辺の交通動向を注視し、関係者と連携を図る。



▲ 県道矢野安浦線道路改良工事

産業観光

Q (民法 正則 議員) ハローズの出店についてどのように考えているのか

A (町長) 新たな雇用が100人を超え、町の活性化に期待。

〔Q1〕 ショッピングモールの進出を町としてはどのように捉えているのか。

〔A1〕 大規模商業施設の進出は購入店舗の選択肢が増えることで町内の消費拡大や雇用機会の増加が期待される。一方、商店街や小売店の経営に一層の困難さが増す懸念もあり、商工会を中心に小売店と大型店の共存共栄に向けた方策の検討がなされることを期待している。

〔Q2〕 地域消費の活性化策について町はどのように考えているのか。地域経済応援クーポン事業を行ってみてはどうか。

〔A2〕 町内の消費全体の向上は町の活性化にとつ

て重要である。地域経済応援クーポン券事業等の実施については、地元経済界の意見等を伺いながら慎重に検討してまいりたい。

〔Q3〕 郵便局付近から南下して県道瀬野野線までの県道完成はいつ頃か。

〔A3〕 6月末頃に完成すると県から伺っている。

〔Q4〕 歩行者等の安全面はどうなのか。

〔A4〕 オープン時はもちろんその後の状況によっても交通整備員を配置するなど、歩行者の安全面に配慮した対応をすると事業者から伺っている。

生活環境

Q (竹爪 憲吾 議員) コロナの影響によるごみの対策は

A (町長) ゴミボックスの新設や延命化を図るなどして、周辺の環境の保全に努めていく。

〔Q1〕 コロナの影響によるごみの変化は。

〔A1〕 排出量全体では、昨年2月から6月に増加、大型ごみは5、6月が突出して多い。

〔Q2〕 環境センターへの直接搬入はどうか。

〔A2〕 昨年3月から増加傾向にあり、前年比約4割増加している。

〔Q3〕 住民側のごみの出し方に問題があるのではないかと。その対策は。

〔A3〕 不分別や、収集後のごみ出し等、ルール違反があり、ごみパトロールを行い、状況を把握し、収集しなかつたごみには警告シールを貼り、指導している。

〔Q4〕 ゴミステーションの数とその管理と今後の対策は。

〔A4〕 町内560か所設置。軽微な修繕は地域の方にお願ひし、大きな修繕は町が対応している。毎年8から9基ボックスを新設しており、既設の延命化を図る。

〔Q5〕 整備不良のボックスがあるが、ゴミステーション整備事業補助金の周知不足や、補助制度に不備があるのでは。

〔A5〕 自治会へは周知を図っているが、住民にもホームページ等で知らせたい。補助制度の運用と実情が乖離していることに関しては、規定の見直しを検討したい。